

重点課題(事業概要) 令和5年度下期

①利用しやすさ(利便性)の向上

- * 開館時間、休館日の見直しの検討

→継続

- * 館外サービスの充実

・ブックポストの増設や公共施設・事業所と連携した受け取り・返却サービスの検討

→継続 和戸地区検討 スーパーマルヤから不可と回答があった。セキ姫宮店は店舗移動に伴いポストも移設した。カスミのポストは日本工業大学木エクラブ作成の大型のポストへ置き換えた。

- * 資料検索、リクエスト、貸出サービス等の改善・充実→継続

②レファレンスサービスの充実と利用促進

- * 相談窓口(スタッフ)サービスの充実と利用促進→継続

③利用者ニーズ・地域課題に対応した資料収集

- * 多様な情報資料の蓄積と提供 (4月から週刊新潮、週刊文春購入)

・他の公共図書館、大学図書館との連携と相互協力の推進→継続

・デジタル化郷土資料を拡大・充実し、地域の情報発信力を高める

→郷土資料館と連携し検討中

・電子書籍(TRC-DL)の充実と利用促進→継続

④高齢者・障がい者向けサービスの充実

- * 高齢者向けサービスの充実を検討する

・よみうり回想サロンの実施

→10月に認知症合同展の催しとして実施、32名参加

・バリアフリー映画会の実施

→10月実施、27名参加

- * 様々な障がいに対応したサービスの充実を検討する→2月からリンゴの棚を設置した

- * 来館が困難な利用者向けサービスの充実を検討する→継続

・自治会、地域交流サロン、福祉施設への団体貸出を検討する→継続

⑤子供の読書活動の推進と小中学校との連携

- * ボランティアとの連携による行事の継続開催

・ボランティアグループと協働による「おはなし会」「紙芝居」「映画会」等行事の実施

→毎月実施

・「すいようえほんの会」の実施

→毎月実施

- * 乳幼児を連れた保護者向けサービスの推進

・「赤ちゃんタイム」の実施、子育て支援の一環として、親子で気兼ねなく図書館で過ごす時間を提供する

→毎週実施

→またナクソス音楽会特別会「0歳から楽しむファミリークラシック」を開催し30名の参加があった

・講座「生きる力を育てるために～絵本のある子育て」の実施

→2月(1回目)に実施し16名、3月(2回目)に実施し23名の参加

- ・「にちようえほんの会」の実施
 - 毎月実施
- * 児童や青少年の読書活動の促進、図書館利用につながる行事の継続開催
 - ・小学生の読書推進活動の一環として、単位制の司書講座を開設し、全単位取得者には「子ども司書」認定証を授与する
 - 下期に予定
 - ・ビブリオ・トークの実施
 - 検討中→見送る
 - ・「ぬいぐるみおとまり会」の実施
 - 10月に実施 15名定員の参加(保護者合わせて30名)
 - ・夏休み期間中「科学あそび教室」、「おはなし工作会」、「読書感想文教室」等行事の実施
 - 定員制とし、7月、8月に実施、科学あそび教室26名参加、おはなし工作会14名参加、読書感想文教室19名参加、
 - 8月こわ〜いおはなし会実施、60名参加
- * 小中学校との連携(支援)
 - ・新小学校1年生全員に、「本の紹介」、「図書室利用のオリエンテーション」を実施し、好きな絵本をプレゼントする(らんどせるブック)、同時に希望者に「図書館利用カード」「読書通帳」を発行する
 - 実施した。読書通帳は上期364冊。下期67冊。通年で431冊配布した。
 - ・オンライン化した小・中学校図書管理により学校連携を更に強化する→継続
 - ・図書館システムによる蔵書管理の支援を行う→継続
 - ・読書統計資料活用により児童・生徒の読書指導を支援する→継続
 - ・学校図書ボランティアとの協働により、児童・生徒の読書活動の推進を図る→継続
 - ・第12回「宮代町図書館を使った調べる学習コンクール」の事務局としてコンクールの充実を図る
 - 第12回を実施した。132作品134名参加。
 - ・地域の小学校、中・高等学校からの社会体験研修を積極的に受け入れる
 - 春日部特別支援学校宮代分校の職場体験を受け入れた(上期2名、下期3名)
 - アバンティさんの職場体験を受け入れた(上期1名、下期2名)
 - 6月百小まちたんけんを受け入れた
 - 1月笠小まちたんけんを受け入れた
 - ・町内小・中学校にデジタル郷土資料を授業用資料として提供する
 - 郷土資料館と連携し検討中
 - ・町内小・中学校に電子書籍(図鑑等)を授業用資料として提供する
 - 検討中
- * 地域や他施設との連携
 - 食育展示(保健センター、町環境資源課、図書館)を実施し関連本(食品ロスなど)の展示貸出
 - 認知症合同展(図書館、町健康介護課、社協、日本工業大学)を実施した。パネル展示、関連本の展示貸出、特別上映会(95名参加)、回想サロン(32名参加)をおこなった
 - 日本工業大学で行われた認知症映画会(社協主催)へ協力しパネル展示をした

→町福祉課へ障がい者週間に関連した図書を団体貸出した

・「子育てひろば」、国納保育園への団体貸出の実施

→子育てひろば、国納保育園、みやしろ保育園、学童(3クラブ 12クラス)、教育支援センターみらいへ実施

・自治会の祭り等へ出張読み聞かせを実施

→検討中・・・情報を入手しニーズを探る

⑥地域に根差し、住民、利用者とともに育む図書館運営

* 専門的職員の配置と育成

・スタッフの適正配置と研修→県の研修及び本社の e-ラーニングを受講しレベルアップを図った

* 住民や利用者の交流と図書館運営の参画

・「ライブラリーシアター」、「落語鑑賞会」の実施

→ライブラリーシアターは毎月実施。講談鑑賞会は 9 月実施、8 名参加。

・読書会の実施。蓄音機や CD を利用した音楽会の実施

→レコード持ち寄り鑑賞会は 11 月に実施、22 名参加

・日本工業大学、東洋大学、東武動物公園等や地域との連携による講演会等の実施

→日本工業大学特別講演会 9 月実施、27 名参加

・郷土資料館との連携によるデジタル郷土資料を活用した「郷土講演会」の実施

→2 月に実施し 26 名の参加

・ナクス・ミュージック・ライブラリーを利用したクラシック鑑賞会の月例実施

→毎月実施

・国立国会図書館「歴史的音源サービス」を利用した落語・オペラ等の鑑賞会の実施

→1 月に実施し 17 名の参加

・大人のための 16mm映画会の実施

→11 月に実施し 45 名の参加

・大人のための絵本の会を実施

→調整中→中止

* 情報の公開と発信の強化

・広報紙「図書館だより」、「こどもの部屋」の充実→継続

・ホームページはスマホ・タブレットに対応した改修を実施

→昨年度実施済み・・・充実を図る

・X(旧ツイッター)等による情報発信を検討

→昨年度実施済み・・・充実を図る

⑦施設の適切な維持改善と快適な利用環境づくり

* 施設、設備の改修→継続 とびだし注意の看板設置

・老朽化した施設、設備の修繕

→(図)ホール懸垂幕不具合改修完了

(町)ホール非常口ヒサシの改修完了

(町)駐輪場のへコミ改修、駐輪場スロープ設置完了

(町)第 1 駐車場ブロックのガタツキの修繕を予定

(図)2F空調機ベルト2台分交換完了

(町)笠小プール横に外灯2基設置

(図)ホール ダウンライト修繕完了

(図)書籍除菌機故障、リプレース予定

(町・県)第1駐車場へ「思いやり駐車場制度」の看板を2基設置

・駐車場に関する課題を検討する

→継続

* 既存施設の活用、施設空き時間の有効活用

・夏休み・春休み・試験期間に研修室を学習室として開放する

→実施した

・「講師控室」「朗読室」を授乳室として提供する→給湯室に扉を設置し利用しやすくすることを検討

* 閲覧、学習スペースの充実

・レイアウトの検討→継続

その他

・4月から町内循環バス停 保健センター前(宮代町立図書館入口)となった

・雑誌広告が12社となった

・2月に避難訓練を実施した

・12月～1月に図書館開館30周年記念展示を実施した

リクエスト (件)	
令和5年度2月末	17,648
令和4年度2月末	19,295
前年比	91.4%

レファレンス (件)		
	所蔵調査	事項調査
令和5年度2月末	1,227	165
令和4年度2月末	147	15
前年比	834.6%	1,100%

受払統計 (点)		
	受入	払出
令和5年度2月末	6,480	4,500
令和4年度2月末	6,744	3,166
前年比	96.0%	142.1%